# corega FEther CB-TXM 取扱説明書（Windows 95 編）

## はじめに

本製品のドライバーを Windows 95 にインストールする手順を説明します（ここでは、ネットワークアダプタ用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない状態でのインストール手順を説明します)。なお、本製品は Version B、Version C に対応しております。バージョンによってドライバーのインストール時に表示されるメッセージが若干異なります。本書では、Version B を使用し、手順を説明します。

本書に記載されている内容は以下の通りです。

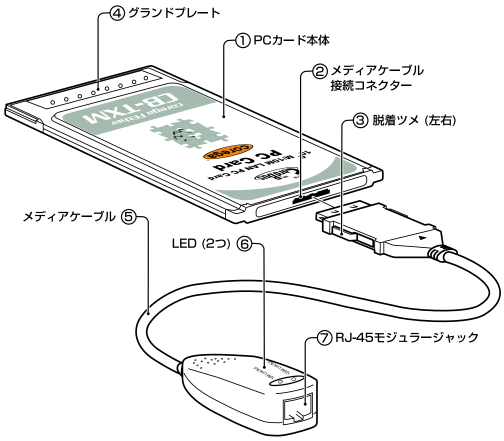


P/N J613-M3547-02 Rev.A 020830

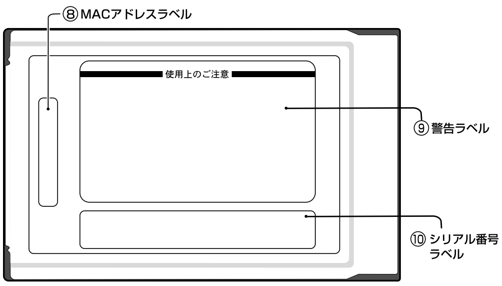
# 各部の名称と働き

本製品の主要な部分の名称と働きを説明します。

## 表面




## 裏面




① PC カード本体

パソコンの PC カードスロットに挿入し、LAN アダプターの機能を提供します。

② メディアケーブル接続コネクター

「④ メディアケーブル」を接続します。

③ 脱着ツメ

メディアケーブルの脱着を行うためのツメです。必ずこのツメを持ってメディアケーブルの脱着を行ってください。

④ グランドプレート

パソコンとの接触抵抗を下げ、高速なデータ転送を実現する接点です。グランドプレート部分は、手や金属で触れたり、汚したりしないようにご注意ください。

⑤ メディアケーブル

PC カード本体と UTP ケーブルを接続するためのケーブルです。

⑥ LED

次の 2 つの LED があります。

10M Link/Act （緑）: 10Mbps で対向機器と正常にリンクが確立されると点灯し、データの送受信時に点滅します。

100M Link/Act （緑）: 100Mbps で対向機器と正常にリンクが確立されると点灯し、データの送受信時に点滅します。

⑦ RJ-45 モジュラージャック

UTP ケーブル（シールドなしツイストペアケーブル）を接続するコネクターです。

⑧ MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記入されています。

⑨ 警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。必ずお読みください。

⑩ シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号（製造番号）とリビジョンが記入されています。同じものが、3 枚同梱されており、パッケージ ( 外箱 ) にも貼付されています。同梱されているシリアル番号シールは、「製品保証書」に貼付してください（残る 2 枚は予備です）。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

# 用意するもの

- 本製品本体・UTP ケーブルなど
- 本製品のドライバーディスク (CD-ROM)
- パソコン（Windows 95 インストール済み）
- Windows 95 の供給メディア（CD-ROM またはフロッピーディスク）

注意 **Windows 95 がパソコン購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されているときは（プリインストール版）、Windows 95 のバックアップ CD-ROM が付属していることをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していないときは、安全のため、必ずフロッピーディスクに Windows 95 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを始めてください。バックアップ手順は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。**

注意 **以下の手順は一例です。お客様の環境によっては、画面表示や手順が若干異なることがあります。また、本書では AT 互換機 /PC98-NX へのインストールを例にして説明してあります。**

# パソコンの確認

「マイコンピュータ」をダブルクリックします。ご使用のパソコンの **CD-ROM ドライブを確認**し、ドライブ名をメモしておきます。

**ここでは、CD-ROM ドライブを「D:」と仮定しています。**



# ハードウェアの設定

## 本製品の取り付け

Windows 95 では、パソコンの電源をオンにしたままカードを挿入することができます。ただし、その場合いくつかの注意点があります。PC カードを挿入する際は、必ず下記の手順にしたがって作業を進めてください。なお、本製品を初めて取り付ける場合は、**本製品を取り付ける前に**必ず 6 ページの「PCMCIA コントローラの有効化」を参照し、PCMCIA コントローラを有効にしてください。

注意 **本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。**

注意 **本製品の内部には、最新の IC 類が使用されています。ご使用中の静電気による故障対策はされていますが、他の機器との接続時などには、特に注意してください。お客様の不注意により生じた静電気等による故障等につきましては、保証の対象外となりますのであらかじめご了承ください。**

注意 **稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により感電する恐れがあります。**

注意 **スタンバイ状態への移行時、復帰状態への移行時に本製品や UTP ケーブルの抜き差しを行わないでください。また、スタンバイ状態からの復帰時、パソコンの機種によっては、本製品が正常に動作しないものがあります。スタンバイ状態への移行、復帰状態への移行につきましては、サポート対象外とさせていただきます。**

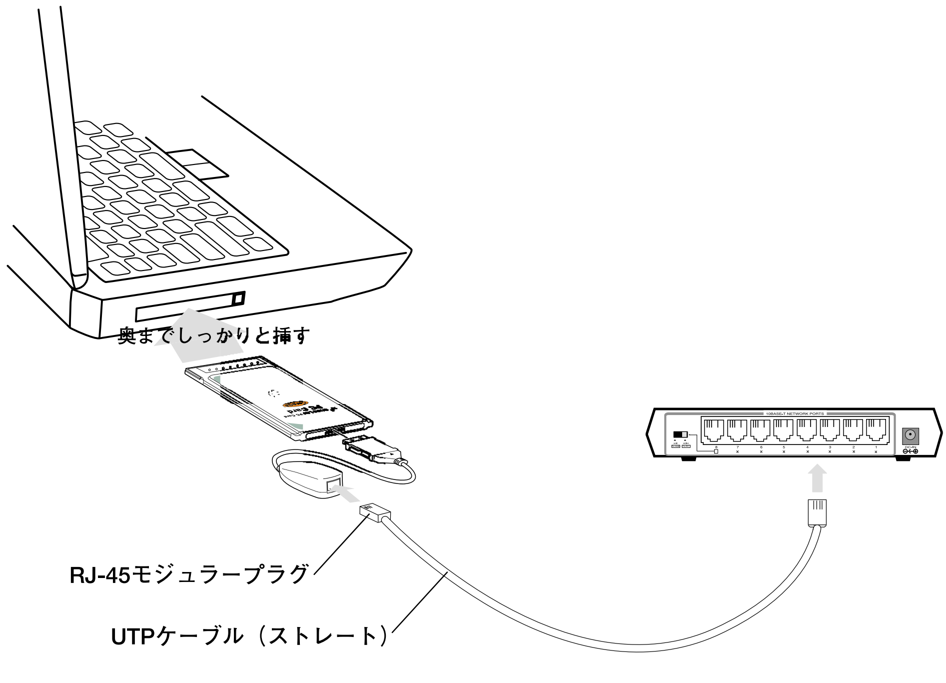
1 .「corega」のロゴが印刷された面を上にして、本製品をパソコンの PC カードスロットに挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。

警告 **パソコン機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違って装着すると、本製品やご使用のパソコンの故障の原因になります。PC カード装着に関しては、必ずご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。**

2 .UTP ケーブルの一方の端に付いたプラグを、本製品の RJ-45 モジュラージャックにカチッと音がするまで差し込みます。両端のプラグのどちらを差し込んでもかまいません。UTP ケーブルとの接続の詳細は、5 ページの「本製品と UTP ケーブルとの接続」をご覧ください。

注意 **UTP ケーブル（シールドなしツイストペアケーブル）は、100BASE-TX の場合はカテゴリー 5、10BASE-T の場合はカテゴリー 3 以上のストレートタイプをご使用ください。**

注意 **接続した対向機器（ハブまたはスイッチ）との状態が正常であれば、本製品（corega FEther CB-TXM）側は Link/Act LED が点灯（緑）します。**




**設置・接続の方法**

## 本製品の取り外し

Windows95 では、パソコンの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットから取り外すことができます。ただし、パソコンの電源がオンの状態で本製品を取り外すときは、必ず以下の手順で行ってください。

警告 **以下の手順を守らなかったときは、パソコンのハングアップやファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。**

1 . ネットワークと通信を行っているアプリケーション、たとえば Telnet やデータベースアプリケーションなどを全て終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、全て切断してください。

2 . タスクトレーの PC カードアイコン（通常画面右下）をダブルクリックします。

3 .「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」で「corega FEther CB-TXM Ethernet Adapter」を選択し、「終了」をクリックします。

4 .「このデバイスは安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます。「OK」をクリックします。

5 . パソコンの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

注意 **パソコンの機種によっては、イジェクトバーなどが PC カードの挿入・取り外し操作に干渉することがありますのでご注意ください。**

## 本製品と UTP ケーブルとの接続

警告 **稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。**

1 .カテゴリー 3 以上の UTP ケーブル（ツイストペアケーブル）を用意します。

2 .UTP ケーブルの一方の端に付いたモジュラープラグを本製品の RJ-45 モジュラージャックに、カチッと音がするまで挿し込みます（両端のプラグのどちらでも構いません）。

3 .UTP ケーブルを引っ張ってみて抜けないことをご確認ください。

4 .手順（2）と同様に、UTP ケーブルのもう一端のモジュラープラグをハブのコネクター（UTP）に挿し込みます。

## UTP ケーブルの外し方

UTP ケーブルの RJ-45 プラグは、プラグの爪を指で押さえながら手前に引くと抜くことができます。

# PCMCIA コントローラの有効化

初めて本製品を取り付けドライバーをインストールする前に、以下の手順を実行してください。この手続きにより、Windows 95 が PC カードを自動認識するための機能が有効化になります。

**注意　この手順は PC カードを初めて使用するときに 1 回だけ実行します。本製品を使用するたびに実行する必要はありません。また、Windows 95 のインストール時に既にこの手順を実行しているときは、実行する必要はありません。**

1 . パソコンの電源をオンにし、Windows 95 を起動します。この時点では、まだ本製品を PC カードスロットに取り付けないでください。

2 .「スタート」の「設定」から「コントロールパネル」を選択し、「PC カード（PCMCIA）」アイコンをダブルクリックします。

3 .「PC カード（PCMCIA）ウィザード」が起動します。質問のダイアログが 2 つ表示されるのでどちらの問いに対しても「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックします。

**以前にこの手順を実行したことがあるときは、このウィンドウは表示されず、「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」ウィンドウが表示されます（6 ページの「PCMCIA コントローラの有効化」を参照）。また、プリインストール版 Windows 95 をご使用のときも同様に、「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」ウィンドウが表示されることがあります。このときは「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」ウィンドウを閉じてください。**

4 .PC カードウィザード完了のダイアログが表示されます。「完了」をクリックします。

**Windows 3.1 から Windows 95 にアップグレードしたパソコンでは、この作業によって CONFIG.SYS に記述された既存の 16 ビットカードサービス、ソケットサービスがコメントアウトされます。**

5 .「システム設定の変更」ダイアログが表示されます。「はい」をクリックし、終了します。Windows 95 が終了したら、パソコンの電源をオフにしてください。

6 . 以上で PC カードを使用する準備が終了しました。引き続き、7 ページの「ドライバーの新規インストール」へお進みください。

# ドライバーの新規インストール

1 . パソコンの電源をオンにし、本製品を PC カードスロットに挿入します。（4 ページの「ハードウェアの設定」を参照）。

2 .Windows95 によって本製品を自動的に検出し、「デバイスドライバウィザード」が起動します。

3 . 本製品のドライバーディスクを CD-ROM ドライブに挿入して「次へ」をクリックします。この時点でドライバーディスクを CD-ROM ドライブに入れておくことが重要です。

注意
**ここでは、CD-ROM ドライブを「D:」と仮定しています。ドライブ名につきましては、3 ページの「パソコンの確認」で確認したドライブ名に読みかえてください。**

4 . 次に表示される画面で「場所の指定」をクリックします。

5 .「D:\W95」と入力し、「OK」をクリックします。ここでは、CD-ROM ドライブを「D:\」と仮定します。

6 . 次のダイアログで、ドライバーの名称が「corega FEther CB-TXM Ethernet Adapter」となっていることを確認し、「完了」をクリックします。

7 . 必要なファイルがハードディスクにコピーされます。コピーの途中で本製品のドライバーディスクが要求された場合は、「OK」をクリックします。

8 .「compccx3.sys が見つからないのでドライバーディスクを入れてください」という画面が表示されたときは、本製品のドライバーディスクを CD-ROM ドライブに入れ、「ファイルのコピー元」に「D:\W95」と入力して「OK」をクリックしてください。「compccx3.sys」は本製品のドライバーディスクに収められているファイルです。ここでは CD-ROM ドライブを「D:」と仮定します。

**ご使用のパソコンに初めて LAN アダプターをインストールする場合は、ここでパソコンをネットワーク上で識別するための情報（「コンピュータ名」、「ワークグループ名」、「コンピュータの説明」）の入力を促すダイアログが表示されます。コンピュータ名とワークグループ名は、半角英数文字 15 文字以内で入力します。詳細は Windows 95 の取扱説明書およびオンラインヘルプを参照してください。これらの情報をドライバーのインストール後に変更するときは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を選択し、「ユーザー情報」タブで設定します。**

9 .Windows 95 の供給メディアを挿入するように指示するダイアログが表示されたときは、以下で説明する Windows 95 のメディア形態に応じて下記のように「ファイルのコピー元」にパスを入力して「OK」をクリックします。

## ■プリインストール版 Windows 95 の場合

プリインストール版の場合は Windows 95 のファイルが既にハードディスクにコピーされています。画面ではディスクを入れるよう要求されますが、そのまま「OK」をクリックして画面を閉じて、上記入力例の「ファイルコピー元」に以下のとおり指定してください。ここでは Windows 95 の起動ディスクドライブを「C:」と仮定します。

**コピー元：C:\windows\options\cabs**

## ■Windows 95 が CD-ROM で提供されている場合

CD-ROM をドライブに挿入し、上記入力例の「ファイルコピー元」に以下のとおり指定してください。ここでは CD-ROM ドライブを「D:」と仮定します。

**コピー元：D:\WIN95**

次ページへつづく

### ■Windows 95 がフロッピーディスクで提供されている場合

現在挿入されているドライバーディスクを取り出し、指示された番号のフロッピーディスクをドライブに入れ、「ファイルのコピー元」に「A:\」と入力してください。ここではフロッピーディスクドライブを「A:」と仮定します。

10. 手順 8 で Windows 95 の供給ディスクを挿入した場合は、<u>そのディスクを CD-ROM ドライブまたはフロッピーディスクドライブから取り出してから</u>、「はい」をクリックしてパソコンを再起動します。ご使用のパソコンの環境によっては、以下のウィンドウが表示されない場合もあります。その場合でも、必ず再起動を行ってください。

11. 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「 インストールの確認」にお進みください。

# インストールの確認

再起動したら、ドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。確認方法には、デバイスマネージャおよび PC カード（PCMCIA）による 2 とおりの方法があります。

## デバイスマネージャによるインストールの確認

1 .「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択します。「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。「corega FEther CB-TXM Ethernet Adapter」を選択（反転表示）し、「プロパティ」をクリックします。

注意 **本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークが付いていたり、アイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にあるときはインストールに失敗しています。詳しくは、PDF 形式のファイル「追加情報とトラブルシューティング」の「ドライバーのトラブルシューティング」をご覧ください。**

2 . 表示されたダイアログで「情報」タブをクリックします。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

注意 **「ドライバ」タブを選択すると、「このデバイスにはドライバファイルが必要でないか、または組み込まれていません。」というメッセージが表示されることがありますが、これは本製品の仕様によるものであり、本製品のご使用には支障ありません。安心してご使用ください。**

3 . 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows 95 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

## PC カード（PCMCIA）による確認

「コントロールパネル」の「PC カード（PCMCIA)」をダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「corega FEther CB-TXM Ethernet Adapter」が表示されていることを確認します。

注意 **ソケットの数はご使用のパソコンの機種によって異なります。**

# ネットワークの設定

ドライバーが正常にインストールされているか確認後、ネットワークの設定などを行います。

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択します。「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。詳細はシステム管理者にご確認ください。また、基本的な設定例を PDF 形式のファイルでご用意しています。本製品のドライバーディスク内の「index.html」をダブルクリックして表示される「corega 製品を使用した LAN の構成」の Windows Me の設定例を参考にしてください。

必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ウィンドウの「OK」をクリックします。再起動の確認画面が表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。

# ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にならい、間違ってインストールされたドライバーを削除してから、再びインストール作業を行います。

1 .「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択します。「システム」をダブルクリックします。「デバイスマネージャ」タブを選択し、「ネットワークアダプタ」アイコンをダブルクリックします。「corega FEther CB-TXM Ethernet Adapter」を選択し、「削除」をクリックします。

2 .「OK」をクリックします。

注意 **手順２の画面で選択肢が表示されたときは、「すべての設定から削除」を選択して「OK」をクリックしてください。また、Windows 95 の CD-ROM が要求された場合は、「 ドライバーの新規インストール」の手順 7 〜 8 と同様にファイルの場所を指定してください。**

**本製品を使用しない場合は、Windows95 終了しパソコンの電源をオフにして本製品を拡張スロットから取り外します。<u>このとき必ず電源プラグをコンセントから抜いてください</u>。次回の Windows95 起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。**

3 . 本製品のアイコンが消えていることを確認し、「システムのプロパティ」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。

4 . タスクトレー（通常画面右下）の PC カードアイコンをダブルクリックします。

5 .「PC カード（PCMCIA）のプロパティ」の「ソケットの状態」タブが表示されます。本製品が挿入されていたソケットの表記が「-」となっていることを確認してください。

6 . 該当するソケット（「- ソケット 1」など）を選択（反転表示）させると「終了」ボタンがアクティブになります。「終了」ボタンをクリックします。

7 .「このデバイスは安全にとりはずせます。」というメッセージが表示されます。「OK」をクリックします。

8 .PC カードスロットから本製品を抜きます。

9 .「ソケットの状態」で「空」と表記されていることを確認して「OK」をクリックします。

10. タスクトレーから PC カードアイコンが消えていることもご確認ください。

11. 以上でドライバーの削除は終了です。パソコンの電源をオフにしてください。ドライバーの再インストールを行う場合は、<u>**本製品を取り外さずに**</u>パソコンを再起動してください。

# ドライバーの再インストール

ドライバーの再インストールを行うときは、ドライバーをいったん削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗したときも、インストールされたドライバーを削除してから再インストール作業を行います。

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

1 .9 ページの「ドライバーの削除」の手順にしたがい、本製品のドライバーを削除します。

2 .7 ページの「ドライバーの新規インストール」の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストールをします。

# おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。



2002 年 8 月　Rev.A　初版